

# 道徳学習指導案

指導者 奥本 雅幸

- 1 日時 平成16年11月26日(金) 第5校時
- 2 学年 第3学年 男子6名 女子4名 計10名
- 3 関連構想のテーマ 今よりかがやく自分をめざして
- 4 主題名 正直に生きる(1-(5)正直・明朗) 関連項目(2-(3)信頼・友情)
- 5 資料名 けいちゃんのわすれもの(出典「新しいどうとく 3年」 光文書院) 一部改作
- 6 主題設定の理由

本学級には、明朗活発で何事にも意欲的に取り組む児童が多い。学校生活における様々な活動の中で、自分が思ったことや感じたこと、疑問に思ったことなどを素直に表現することができる。とくに、お互いが見つけたなかまのがんばりやよいところを具体的に褒め、認め合うことができるというよさをもっている児童集団である。また、みんな仲がよく、なかまとともに元気よく遊ぶ姿をたくさん見ることができる。しかし、まだ自己中心的な面を残しているため、些細なことでも思い通りにならないと、仲間に対していらだたしさをぶつかけたり、投げやりな態度をとったりしてしまうこともある。その際、よくない言動があった時には、お互いに注意し合うこともできる。しかし、注意をされた自分の言動に対して内省し、悔い改めることができる反面、時には「これくらいはいいよ」とか「自分だけではない」といった自己責任を回避しようとする場面も見られる。

中学年における「正直・明朗」の価値項目の内容は「正直に、明るい心で元気よく生活する」である。人間は、誰でも自分の心に正直でありたいと思っている。正直に生きるということは、心にやましさがない、つまり自分に対して偽りのないことであると考ええる。一方で嘘をついたり、ごまかしたりすることから、心が落ち着かなくなったり、暗くなったりすることもある。中学年では、まず自分に正直に生きることの爽快さを実感できるようにすることが大切であると考ええる。また、自分に正直な行動をとることによって、明るくのびのびと生活していくことができるようになることも自覚させていく必要がある。

関連構想のテーマ「今よりかがやく自分をめざして」は、児童がこれまでにできるようになったことや、何かを努力して乗り越えた時の喜びや達成感を思い出させ、さらに新しく挑戦する夢や希望をもち、明るく元気で、よりよい生活をしていこうとする意欲をもたせるために設定した。指導にあたっては、道徳の時間を中心に学級活動や教科学習とも関連させながらすすめていく。とくに「心のノート」を積極的に活用し、夢や目標に向かって地道に努力することで、自分に自信がもてるようになるを感じ取らせたい。そして、新しく挑戦する夢や希望にむけて努力しているか、学級活動や帰りの会などで定期的に振り返ったり、冬季休業中に家庭で頑張りたいことを持たせ、保護者の協力を仰ぎながら実践させたりすることで、意欲の継続化を図っていきたい。

本資料は、主人公の「よしお」が、友だちの「けいちゃん」が忘れて帰ったゲームについて母親から尋ねられ、とっさに「けいちゃんから借りた」と嘘をついてしまうところから始まる。その後、友だちと母親の電話のやりとりから、友だちが怒るだろうという心配と嘘がばれて母親からしかられないかという不安で主人公の心が揺れ始める。結局、友だちとはけんか別れになり、母親にも真意を問い詰められるという話である。

本時の指導にあたっては、友だちに対して悪いことをしたと思いながらも、母親に対して嘘をついたことで、主人公の心がいらだち始めたことをとらえさせたい。そして、友だちとの電話での会話の後、母親に本当のことを正直に言おうか言うまいかで揺れる主人公の内面を価値類型し、弱い主人公と正直な主人公の両方が存在していることに気づかせたい。そして、役割演技を通して、自分に嘘の言動をとるのではなく、何事も自分に正直に行動することで心が晴れ晴れとなり、明るい心を生むということを共感させたい。

7 他教科領域や日常生活との関連構想図



「心のノート」 心のコーナー  
学級通信 朝の会 帰りの会

今よりかがやく自分をめざして  
めあてに向かって努力し続けよう。  
自分に素直で明るく生活しよう。

12月 学級活動  
冬休みの計画をたてよう

心のノート  
P23

・みんなのために働くことって  
すばらしいことだな。  
・これからは、何でも進んで働  
いてみよう。

・毎日、お風呂掃除を続けて  
いくぞ。  
・自由勉強を一日2ページず  
つやっつけていこう。

12月  
道徳の時間  
【はたらくことのよさ  
4 - (2)】  
働くことの大切さ  
を知り、自分も進ん  
で働こうとする態度  
を育てる。

心のノート  
P70~71

・うそをつくとき暗い気持ちに  
なるんだなあ。  
・うそをつくことなく、明る  
く元気にすごしていくぞ。

10月~12月 体育科  
跳び箱・鉄棒運動

・練習を続けたら上手にな  
ったぞ。  
・新しい技にも挑戦するぞ。

11月  
道徳の時間  
【正直に生きる  
1 - (5)】  
うそをついたり、  
ごまかしたりせず、  
正直に明るく生きよ  
うとする心情を育て  
る。(本時)

心のノート  
P28~31

通年 算数科  
百マス計算

・1秒でも早く、正確  
にできるように続けて  
頑張るぞ。

11月 学級活動  
新しい目標を立てよう

・どんな目標を立てようかな。  
・決めただけじゃなくて、挑戦し  
ていくことが大事だぞ。  
・ぼくは 目標にするぞ。

11月  
道徳の時間  
【希望をもって努力す  
る心 1 - (3)】  
困難から逃げ出さ  
ず、目標を持って根  
気強く努力し、最後  
までやりぬこうとす  
る態度を育てる。

心のノート  
P20

9月~ 国語科  
漢字オリンピック

・正しく丁寧に書く練習を続  
けたら、だんだん漢字が好き  
になったよ。  
・百点を続けてとりたいな。

家庭での生活  
会話 お手伝い 心のノート

地域での生活  
挨拶 言葉づかい

8 本時のねらい

学校での日常生活  
体験活動 教師との会話 友だちとの会話 休憩時間

明るく育てる。

9 準備物 場面絵，カラーサイン，心のノート

10 展開

段階	学習活動と主な発問	児童の意識の流れ	指導上の留意点（ ）と評価（*）	
導入	1 これまでの経験を想起する。 友だちと何をして遊んでいますか。	・ゲームをして遊んでいる。 ・近くの公園で遊んでいる。	楽しい雰囲気を進め，資料への興味づけをする。 * 資料への興味がわいたか。	
展開（前段）	2 資料「けいちゃんのわずれもの」を聞いて，話し合う。 よしお君が本当のことを言わなかったのは，どうしてだろう。  ドキドキしながら電話に出たよしお君は，どんな気持ちだろう。  けいちゃんと言い合いになってしまったよしお君は，どう思っているだろう。  よしおくんは，この後どちらのぼくなるだろう。	・新しいゲームがしたかったから。 ・自分一人でやりたかったから。 ・誰にも迷惑はかからないと思ったから。  ・お母さんが，余計なことを言わなければいいのに。 ・うそをついたことがお母さんにばれてしまわないかなあ。 ・けいちゃんに謝らないと，きっと怒っているだろうなあ。  ・すぐに謝れなかったなあ。 ・けいちゃんに悪いことをしたな。 ・ごめんねと言いついたなあ。  ・嘘をつくとき，心がすっきりしないから，本当のことを言う。 ・嘘をついて，もうこれ以上お母さんに怒られるのはいやだから，本当のことを言う。 ・本当のことを言わなければいいし，まだゲームがやりたいから，言い逃れをする。	自分勝手な考えや，心の弱さからとっさに嘘をついてしまった主人公の言動をおさえ，理由は正しいか考えさせる。 * とっさに嘘をついてしまった，主人公の気持ちを考えたか。  母親へついた嘘がばれて，叱られないかという不安と，けいちゃんが怒るだろうという心配で，主人公の心が揺れていることに気づかせる。 * 動揺している主人公の気持ちに気づくことができたか。  けいちゃんに謝ろうと思いついても，友だちからの言葉や嘘をついた負い目で心がいらだち，素直になれない主人公の心情をとらえさせる。 * 自分に素直になれない主人公の気持ちに気づくことができたか。  カラーサインを通して，児童一人一人に自分の思いをもたせる。 お母さんに呼ばれたあとの主人公の気持ちを役割演技させる。 * 自分の判断に対する理由づけができたか。 * 友だちの考えにふれ，自分の考えを見つめなおすことができたか。 * 嘘やごまかしをせず，正直に行動することがよいと実感できたか。	
	展開（後段）	3 自分の経験を振り返る。 今までに「正直に行動して心がすっきりした」ことがありますか。	・忘れ物をしたことを黙ってしないで，正直に先生に話した。 ・友だちに嘘をついてしまったあと，すぐ正直に謝った。	振り返りにくい場合は「心のノート」P30を開き，経験を振り返らせる。 * 自分の経験を振り返り，価値に気づくことができたか。
	終末	4 教師の説話を聞く。	・嘘をつかず，正直に明るく生きることが大切なんだな。	* 今後への意欲がもてたか。

11 事後の取り組み

本時の取り組みを通して，児童の心の中に正直に生きていくことが大切であるという気持ちが深まっていくと考えられる。そこで，児童が正直に生きていくことのよさを味わえるように，評言活動に取り組む。また，ファールルの少年時代のエピソードをもとにした「ナシの実」（東京書籍）を読み聞かせる活動を行い，正直に生きることのすばらしさを感じさせ，意欲の継続化を図る。

「けいちゃんのをすれもの」授業構想図

学習活動と主な発問	資料場面	登場人物の心の動きと価値のかかり	児童の意識の流れと板書計画	道徳的価値の自覚化
<p>これまでの経験を想起する。</p> <p>資料を聞いて話し合う。</p> <p>よしお君が本当のことを言わなかったのは、どうしてだろう。</p> <p>ドキドキしながら電話に出たよしお君はどんな気持ちだろう。</p> <p>友だちと本気のけんかになったよしお君はどんな気持ちだろう。</p> <p>よしお君はこの後どうするだろう。(価値観の類型化)</p> <p>自分の生活を振り返る。 正直に行動してよかったことはありますか。</p> <p>教師の説話を聞く。</p>	<p>友だちの忘れて行ったゲームに夢中になる</p> <p>お母さんと友だちが話している</p> <p>お母さんの言葉に腹をたてて電話を切る。</p> <p>お母さんが怖い顔をして自分の後ろに立っている。</p>	<p>(ぼく)</p> <p>お母さんからの問いかけに自分勝手な考えから、つい嘘をついてしまっ。</p> <p><b>正直・明朗</b> <b>信頼・友情</b></p> <p>母親へついた嘘がばれる不安と友だちが怒るだろうという心配で心が揺れ始める。</p> <p><b>正直・明朗</b> <b>信頼・友情</b></p> <p>けいちゃんに対して悪いと思いつつも、嘘をついていることに負い目を感じ素直になれない。</p> <p><b>正直・明朗</b> <b>信頼・友情</b></p> <p>自分のことしか考えなかったから暗い気分になっていることが分かり、どうすればいいか分かっていゝるがまだ心が揺れている。</p>	<p>・ゲームをしている。 ・近くの公園で遊んでいる。</p> <p>新しいゲームがしたいなあ。 誰にも迷惑はかからないよ。</p> <p>場面絵 ゲームをする場面</p> <p>お母さんがよけいなことを。 うそをつくんじゃなかったなあ。</p> <p>場面絵 電話に出る場面</p> <p>そこまで言わなくても。 けいちゃんに悪いことしたな</p> <p>場面絵 けいちゃんとの電話</p> <p>場面絵 母とぼく</p> <p>「よしお。」</p> <p>素直に言おうとするぼく</p> <p>言い逃れをしようとするぼく</p> <p>正直に言う</p> <p>・嘘をついていてすっきりしない</p> <p>・本当のことを言わなければいいから</p> <p>・忘れ物をしたことを黙っていないで先生に話した。</p> <p>・友だちに嘘をついてしまったあと、すぐ正直に謝った。</p> <p>・嘘をつかず、正直に明るく生きることが大切なんだな。</p>	<p>自分が悪いと言われ、それを他人のせいにする と自分がついている嘘 について素直に謝ること ができないことをと らえる。</p> <p>どんな状況であっても 何を言われても早く、正 直に話すべきだったと 気づく。</p> <p>自分のことだけ考えて いた主人公の身勝手に 気づく。</p> <p>価値に照らして、今までの自分の経験を振り返る。</p> <p>正直な自分を引き出して明るく生きていこうとする意欲をもつ。</p>